

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
【部門区分】第 1 部門第 2 区分
【発行日】令和 4 年 2 月 18 日(2022.2.18)

【公開番号】特開 2020-156590(P2020-156590A)
【公開日】令和 2 年 10 月 1 日(2020.10.1)
【年通号数】公開・登録公報 2020-040
【出願番号】特願 2019-56557(P2019-56557)
【国際特許分類】

A 6 1 F 13/49(2006.01)

10

A 6 1 F 13/496(2006.01)

【F I】

A 6 1 F 13/49 3 1 2 Z

A 6 1 F 13/496

A 6 1 F 13/49 4 1 3

【手続補正書】

【提出日】令和 4 年 2 月 9 日(2022.2.9)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

20

【補正対象項目名】0033

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0033】

また、以下の説明における不織布としては、部位や目的に応じて公知の不織布を適宜使用することができる。不織布の構成繊維としては、例えばポリエチレン又はポリプロピレン等のオレフィン系、ポリエステル系、ポリアミド系等の合成繊維（単成分繊維の他、芯鞘等の複合繊維も含む）の他、レーヨンやキュプラ等の再生繊維、綿等の天然繊維等、特に限定なく選択することができ、これらを混合して用いることもできる。不織布の柔軟性を高めるために、構成繊維を捲縮繊維とするのは好ましい。また、不織布の構成繊維は、親水性繊維（親水化剤により親水性となったものを含む）であっても、疎水性繊維若しくは撥水性繊維（撥水剤により撥水性となった撥水性繊維を含む）であってもよい。また、不織布は一般に繊維の長さや、シート形成方法、繊維結合方法、積層構造により、短繊維不織布、長繊維不織布、スパンボンド不織布、メルトブローン不織布、スパンレース不織布、サーマルボンド（エアスルー）不織布、ニードルパンチ不織布、ポイントボンド不織布、積層不織布（同一又は類似の不織布層が積層された S S S 不織布等の他、異なる不織布層が積層された、スパンボンド層間にメルトブローン層を挟んだ S M S 不織布、S M M S 不織布等）等に分類されるが、これらのどの不織布も用いることができる。

30

40

50